

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
解剖生理学 I	1 年次	必修	講義	1 単位（30時間）	竹内 法子
授 業 概 要					
<p>人体の基本的な構造および生体の機能や仕組みの要因や現象など、いわゆる生命現象を知る科目である。器官を系統に分けて、その構造形態と生体機能、恒常性の維持に関する内容を解説する。マクロ・ミクロの両面からアプローチして解説する。</p> <p>緻密で精妙な生体構造と機能の基本的な特性、病態との関連性についても解説する。</p> <p>生理機能検査学をはじめ、発展的内容を含む科目の基礎となる知識を修得する。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 心臓や血管、リンパ管など循環器系の構造と形態について、その特徴を理解し模式図を用いて説明できる。 ・ 腎臓など泌尿器系の構造と形態について、その特徴を理解し模式図を用いて説明できる。 ・ 心臓血管系の機能、血圧と脈拍、循環調節、リンパ循環について、理解し説明できる。 ・ 体温調節など恒常性の維持や、生殖および個体の発生について、理解し説明できる。 ・ 泌尿器系の機能、尿の生成と排泄、腎機能について、理解し説明できる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	体液と血液：体液の分類、体液平衡				竹内 法子
2	：体液の組成、血液の機能、血液成分				
3	：血液の性状、血液型、リンパ液				
4	生体の恒常性：体温とその調節、発汗				
5	循環器系：循環の役割、動脈血と静脈血				
6	：心臓の構造と機能①（心筋、弁、心臓の神経支配）				
7	：心臓の構造と機能②（心周期）				
8	：心臓の構造と機能③（心拍数、心拍出量の調節）				
9	：血管の構造と機能①（血管の構成と血管壁、血流調節）				
10	：血管の構造と機能②（動脈系の循環）				
11	：血管の構造と機能③（静脈系の循環）				
12	：リンパ系の構造と機能（リンパ循環、細網内皮系、免疫系）				
13	泌尿器系：泌尿器系の構造				
14	：尿とその生成				
15	：体液性状の調節、尿排泄				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書及び参考書を基本に配付資料も加えて授業を行う。 ・ 配付資料は内容を理解して授業及び自習に活用する。 ・ 実施の講義内容を十分に復習し、理解を深めること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回講義以降、前回までの講義内容に関する小テストを隔回で行う。 ・ 定期試験（70%）及び小テスト（30%）により総合評価する。 ・ 遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は 0 点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・ 再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
人体の構造と機能 第 5 版	内田さえ、佐伯由香、原田玲子	医歯薬出版株式会社			
ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄、橋本尚詞	成美堂出版			
標準臨床検査学 基礎医学 人体の構造と機能	岩谷良則	医学書院			
〔参考書〕					
最新臨床検査学講座 解剖学	秋田恵一、星治	医歯薬出版株式会社			
最新臨床検査学講座 生理学	奈良信雄、和田隆志	医歯薬出版株式会社			
配付資料					